

### ③創業・起業、新事業開拓、成長支援

## ファンドを活用した被災漁業者の成長支援

(七十七銀行)

#### 【概要】

東日本大震災により甚大な被害を受けた漁業者A社に対し、七十七銀行は新型マグロ延縄漁船を建造のもと、高品質のマグロを地元の水揚げする事業計画の策定支援を実施。同事業が水産庁の「もうかる漁業創設支援事業」に採択されるなか、七十七銀行は、財務基盤強化メリットを有する「東日本大震災中小企業復興支援ファンド」の活用を提案、同ファンドを通じたA社への資金供給を実施。

#### 背景と経緯

A社は、気仙沼地区にて明治41年に創業し、遠洋マグロ延縄漁船の運営、鮮魚の卸売、水産加工品の製造販売を行う老舗企業である。

東日本大震災により本店、加工場、製氷工場が流失するなど、甚大な被害を受けたが、地域の漁船に必要とされる製氷工場等をいち早く復旧させた。その後も順次加工場を復旧させ、雇用回復に貢献するなど、地元の中核企業として、気仙沼地区の水産業の復旧・復興に尽力した。

そのような状況下、施設の復旧とともに、省エネ・省力化を実現する新型マグロ延縄漁船を建造し、高品質なマグロを地元の水揚げする事業構想が浮上した。

#### 具体的な取組

七十七銀行では、A社のメイン行として、日頃のリレーションを図るなか、実権者とのコンタクトを重ね、当社の本事業にかかる計画策定の支援・アドバイス等を行った。

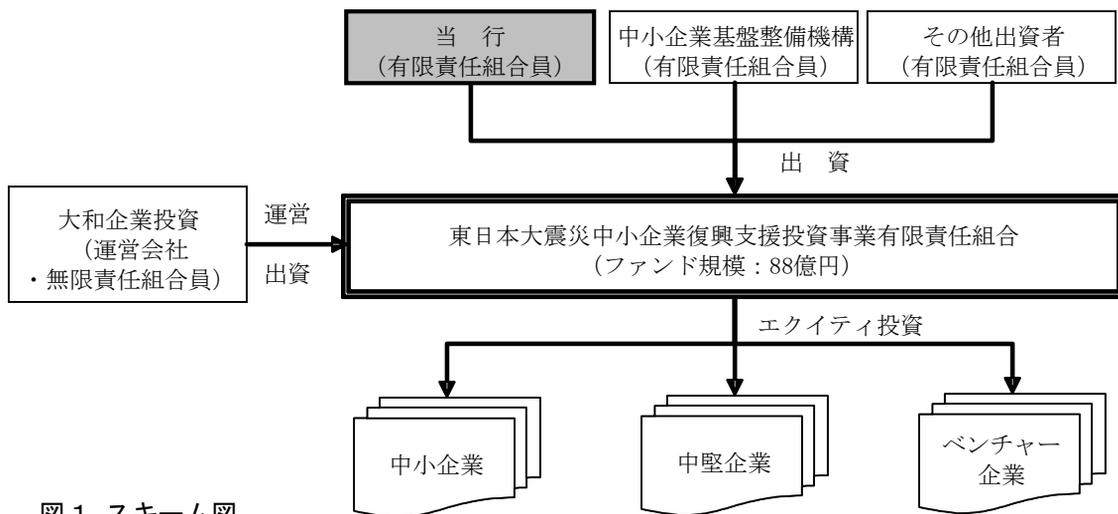


図1 スキーム図

また、本事業資金について、財務基盤強化メリットを有する「東日本大震災中小企業復興支援ファンド」を活用して調達することを提案。長期にわたり協議・調整を行い、同ファンドにおける転換社債型新株予約権付社債（劣後特約付）の引受けを通じて、A社への資金供給を行った。

## 取組の成果

本事業は、水産庁の水産業体質強化総合対策「もうかる漁業創設支援事業」に採択され、七十七銀行は、地域金融機関として気仙沼ブランドの高品質なマグロを流通させる新たな取組の一翼を担うことができた。

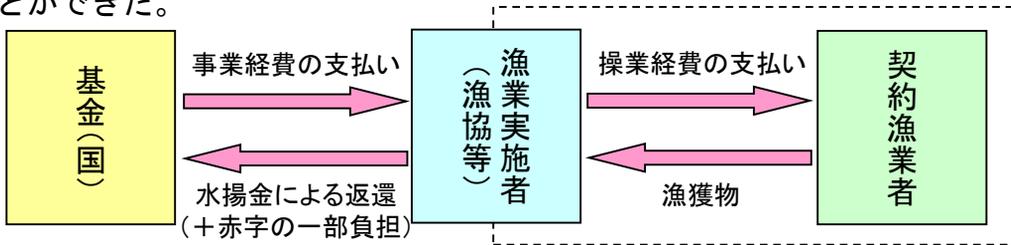


図2 「もうかる漁業創設支援事業」の仕組み

また、七十七銀行がファンドを活用したメザニンファイナンスを提案し、同ファンドにて投資実行に至ったことにより、A社の事業資金の安定的な調達に加え、財務基盤の強化を図ることができた。

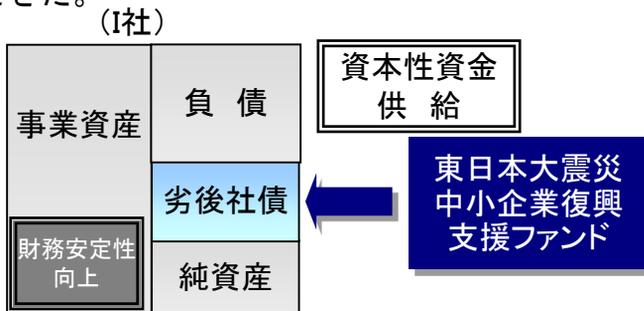


図3 ファンド活用イメージ



写真 新型マグロ延縄漁船

## 今後の課題

販路拡大を支援し、気仙沼港で水揚げされる高品質なマグロのブランド価値向上に努めていく必要がある。

また、転換社債型新株予約権付社債の償還時にリファイナンスを検討する必要がある。



### Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

支援実施のポイント① 強固な「レーション」とタイムリーな情報提供

支援実施のポイント② 事業計画段階からの積極的な関与

支援実施のポイント③ 多様な資金調達手段の提案